# インフルエンサーと連携したくしろ地域のリアルタイムな魅力発信



| | |
|---|---|
| 概　　要 | くしろ地域を取材中のインフルエンサーの様子を公用スマホで動画撮影し、振興局公式Facebookでリアルタイムに発信 |
| 効　　果 | 動画を用いたSNS発信が誰でも簡単にでき、地域の魅力を伝えやすい。<br>投稿閲覧数が過去最高を記録し、広く地域の魅力を発信できた。 |
| 気　づ　き | 動画撮影の音声録音がONの場合は、雑音が録音され失敗することがあり、また、OFFの場合では、リアリティーの薄い動画となった。あらかじめ周りの環境や撮りたいイメージし、都度、設定の確認が必要。 |

## これまで

・デジカメやビデオカメラの撮影機材の準備や持参の手間がかかる。
・撮影データは帰庁後にPCに取り込み、公式SNSで発信。リアルな情報発信ができない。（効果的な発信時期を逃してしまう）

## これから

・公用スマホを持参するだけで、簡単に動画撮影が可能に！
・撮影したデータはOPSWATを活用して、容易にPCへ取込が可能に！
・リアルタイム（決裁後）でSNS投稿が可能に！

**※想定外のうれしい効果**

リアルタイムで発信した投稿をインフルエンサーがその場でシェア ⇒ 多くの方が閲覧

【現地（撮影）】

【データ送信】

課共有ID使用

OPSWAT

【執務室(投稿)】

【Facebook】

# 地域公共交通の利用促進への活用



| | |
|---|---|
| 概　　要 | 関係事業者にモバイルPCを活用し、実際に動画を見ていただくことで、事業内容の説明や動画確認を実施。現場での撮影に当たっては、モバイルPCを活用したファイルの共有やDoMEETを利用し職場と即座に打合せ。 |
| 効　　果 | 対外説明を効率化することで、相手方にもメリット。撮影に係る職員の負担を軽減し、事業効果をアップ |

## ➢ 関係機関への説明や動画撮影がモバイルPCの活用で効率化

### ～これまで～

① バス会社などの関係機関に、事業への協力を仰ぐ際には、ペーパーのみを用いて事業趣旨を説明

② 撮影した動画の確認は、帰庁後にしかできなかった。このため、現場での動画撮影が終了し、帰庁後に、

⇒　編集
　⇒　「あっ、あの場面の動画も欲しい。」
　⇒　現場に出て、再撮影

という非効率な対応を要する場合も。

関係先への説明は、ペーパーのみから、

←実際の説明資料

### ～これから～

① モバイルPCの活用により、動画を相手方に見せながら打合せが可能となることから、一目で事業内容を伝達

② 現場で撮影した動画素材を、

⇒　モバイルPCで即座に所属と共有
　⇒　職場の編集チームがすぐにチェック
　⇒　DoMEETを活用し、素材の不足等を指示
　⇒　再撮影の必要性を最小限に

また、撮影班の職員が、各自のスマホで、予備的に様々な角度から動画を撮影することで、活用できる素材が増え、完成動画の魅力アップも期待。

動画視聴の併用で一目瞭然

※ぜひ、ご視聴ください↑（https://youtu.be/vFSCCIaAxsw）

後志総合振興局地域創生部地域政策課

# 私立学校におけるオンラインヒアリングの実施



| | |
|---|---|
| 概　　要 | 道内の私立学校（幼・小・中・高）に対して、各学校の運営状況や補助金に係る事項についての確認をヒアリングする際に、オンラインでのヒアリングを実施 |
| 効　　果 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び遠方への（からの）移動時間やコストの削減 |
| 道民の声 | 従来の対面式に比べ、移動時間や旅費を削減することができた。<br>学校の行事等に配慮した柔軟な日程調整が可能になった。<br>複数の拠点から複数人で参加することが可能となったことで、より詳細な説明をすることができた。 |
| 気づき・失敗 | オンラインの設備及び会場の確保（準備）が大変<br>学校側においても機器設定の調整等、事前準備が必要 |

## ➢ Zoomを積極的に活用したオンラインヒアリングの実施

**～これまで～**

- 道内数カ所（札幌市、函館市、旭川市、釧路市）に用意したヒアリング会場に私立学校の担当者を参集し、対面式での概況ヒアリングを実施

**～これから～**

- 新型コロナウイルス感染症対策の観点から従来の対面式からオンラインでのヒアリングにシフトチェンジ
- オンラインにすることにより、学校の行事等に配慮した柔軟な日程でヒアリングを実施できるほか、道・学校側の双方で移動時間やコストの削減（会場使用料、旅費等）が可能
- また、従来は会場の広さに応じて参加人数を限定せざるを得なかったが、オンラインでの実施にシフトチェンジすることにより、参加人数を限定することなく、また、複数の拠点（※）から参加することが可能
  （※）学校法人担当者と学校担当者がそれぞれの職場においてヒアリングに参加
- 公用スマホのテザリング機能を活用し、職員が職場以外の場所や自宅からヒアリングに参加することも可能

〈イメージ〉

# 檜山地域における観光事業者等への迅速な対応



| | |
|---|---|
| 概　　要 | ・「北海道観光振興機構ブロック記者発表会」に出演予定の事業者が急遽欠席となったことから、新たに管内の事業者に出演依頼の電話が職場宛てにあった。その際外勤中であったが、公用スマホへの転送により案件を把握し、事業者との調整を実施<br>・副賞制作の事業者との発注打合せで、手持ちにはない資料の提供を求められたが、打合せに持参していたPCからNドライブへアクセスし、資料を提示 |
| 効　　果 | ・即日対応しなければならない案件でも、公用スマホへの連絡により、迅速な対応が実現<br>・打合せ先でもNドライブの参照で、相手が求める資料提示が可能に |
| 道民の声 | 打合せ先の事業者や管内役場職員から、道庁のスマート化が進んでいることに感心された。 |
| 気　づ　き | 突発的な事態に対応できるよう、出張・外勤では常に公用スマホとPCを持ち歩くと便利 |

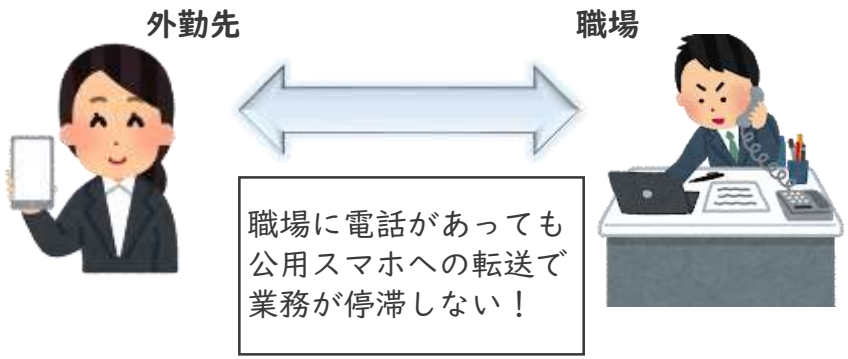
## ➢ 外勤中でも、公用スマホへの転送で、緊急用件に迅速に対応

**～これまで～**

外勤中に緊急案件の連絡が職場にあっても、帰庁後の対応となりタイムラグが発生するか、若しくは私用携帯で先方に折り返すことになり私用の電話料金が発生するなど、不便があった。

**～これから～**

緊急案件は、外勤中でも公用スマホに転送し、迅速な対応が可能！




## ➢ 打合せ先でも、求められた資料をその場で提示し、業務が円滑化

**～これまで～**

事業者との打合せ中に必要な資料が手元にない場合、帰庁後に対応

**～これから～**

打合せ先でも、必要な資料は共有ドライブにアクセスし、提示が可能！

必要な資料を提示することで、打合せが円滑化！

# 道南ワインアカデミーのオンライン開催



| | |
|---|---|
| 概　　要 | ・ワインの生産に活かせる知識・手法を学ぶセミナーとして、「道南ワインアカデミー」をZoomによるオンラインで開催し、会場と職場で共有<br>・会場及びオンライン視聴の参加者受付を電子データで管理 |
| 効　　果 | ・セミナーの視聴場所を、会場と参加者宅、職場内と分散することで３密を回避<br>・参加者受付は、セミナー会場で電子データ入力することで、事後の事務処理が軽減<br>・場所にとらわれない迅速な情報共有が実現 |
| 道民の声 | ・オンラインでもリアルと変わらない分かりやすい講義であり、非常に有意義であった<br>・セミナー会場までの旅費や移動時間がかからないため、時間を有効活用することができた |
| 気づき・失敗 | ・バッテリーの持ち時間が少ない→常に電源に接続しておく必要がある<br>・後方の席から大型モニターの画面が見づらい→スクリーンなど、さらに大きな画面を用意する必要がある |

## ➢ １パソを活用した複数箇所でのオンラインセミナーの視聴

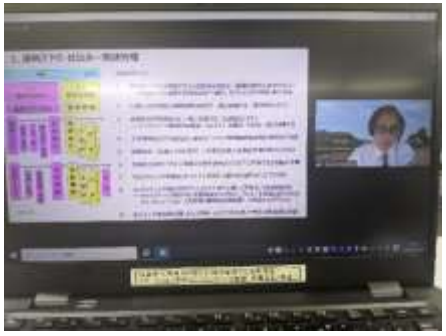
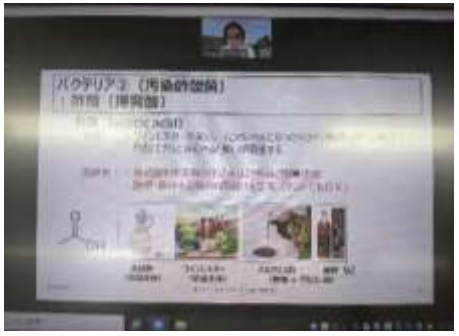
**～これまで～**

① オンラインセミナーはネット環境がない者の参加が困難
② 参加受付は、紙媒体で管理の上、セミナー修了後にデータ化

**～これから～**

① １パソでZoomの利用が可能になり、場所にとらわれない情報共有の迅速化が可能に
② ネット環境がない生産者も、視聴会場にて、１パソから投影した大型モニタを参照し、セミナーに参加
③ 事務処理も会場で完結でき、セミナー終了後の業務が軽減

ネット環境がない参加者のために、視聴会場に1パソを持ち込み、Zoom画面を大型モニタに投影

講師は東京からオンラインで参加

# 商談会等でのバイヤーに対するタイムリーな情報発信



| | |
|---|---|
| 概　　要 | ・道では、道内外で小売店等バイヤーを集めた商談会や提案会を開催<br>・参加バイヤーから道の食関連施策や商品に関して様々な質問を受けるため、道職員がスマホ、PC、DoMEETを活用して、バイヤーなどからの質疑に対応 |
| 効　　果 | 相手のニーズにその場で対応することで、道施策や商品情報をタイムリーに伝えることができる。 |
| 道民の声 | バイヤーに対して、商品情報を視覚的に紹介してもらえるとありがたい。（メーカーの声） |
| 気　づ　き | ・パソコンを持参しない出張時の急な商談機会に対応できない。<br>・PCの動作が遅いと相手先のある商談の場では使えない。<br>・施設や場所によっては、通信が不安定な時があり、時にはテザリング接続できない場合があった。 |

## ➢ 道外流通バイヤーの様々な興味関心にその場で回答

**～これまで～**

紙媒体で道施策や商品情報を説明

**～これから～**

① モバイルPCで共有ドライブにつなぎ、資料を画面に表示して説明

② モバイルPCで施策担当係とWeb会議やDoCHATをつなぎ、バイヤーの質疑に対応

紙媒体の在庫がない過年度パンフレット
（画像は北のハイグレード食品2015）

③ モバイルPCでインターネットにつなぎ、画面に表示して商品情報や取引条件を説明

道産品ＢtoＢ取引サイト
「北のカタログ電子版」

# スタートアップ支援業務への活用



| | |
|---|---|
| 概　　要 | 多忙のため面会の時間を確保しづらいスタートアップへの支援施策を検討するにあたり、スタートアップ関係者が入居したり、仕事やイベント等を開催していることの多い札幌市内のコワーキングスペースで、リモートワークをすることで、スタートアップ関係者と物理的距離が近づき、親密になる。 |
| 効　　果 | スタートアップ関係者と物理的な距離が近づくことで、良好な関係が構築しやすくなり、本音の意見を聞きやすくなり、結果的に効果的な施策立案が可能となる。 |
| 道民の声 | 商品（政策）を売り出す前に、ターゲットとなる顧客（スタートアップ企業）の声を聞くのは、正しい。 |
| 気　づ　き | ・職場のPCではアクセス制限が多く、スタートアップ企業とやりとりすることの多いビジネスチャット「Slack」やクラウド上でのファイル共有ができない。<br>・外部のオープンスペースで打ち合わせ等を行う場合は、覗き見されないように注意が必要。 |

SAPPORO Incubation Hub DRIVE

EZOHUB SAPPORO

# 農作物生育状況調査における画像データの共有化



| | |
|---|---|
| 概　　要 | 普及センター及び振興局内に農作物生育状況調査の情報共有を行うため公用スマホ及び行コミパソコンを活用した |
| 効　　果 | 普及センター職員以外に振興局職員にも情報共有化し幹部等にも解りやすく説明できる。 |
| 気　づ　き | ・OPSWATの操作が煩雑で迅速化が必要<br>・スマホのカメラ画質がやや不良（遠景が不鮮明、カメラ設定がわからない） |

## ➢ 農作物生育状況調査における写真の共有化

**～これまで～**

農作物生育状況調査は数値や文章での表現であり、状況説明がわかりづらかった。

**～これから～**

① 現場で調査時に公用スマホで農作物及び農作業の写真を撮影
② スマートフォンで撮影した画像データを「OPSWAT」にアップロード
③ 職場で「OPSWAT」からPCへ画像データをダウンロード
④ 職場では画像データを共有ドライブに格納し職員間で情報共有
⑤ 振興局とは振興局協議に使用し共有化

＜現場：写真撮影風景（大豆開花状況）＞

＜共有画像：公用スマホで撮影した農作物生育及び農作業＞

＜職場：所内・振興局協議風景＞

檜山振興局産業振興部檜山農業改良普及センター

# 農業改良普及業務に係る外勤先での公用スマホ活用術



## 背景～本来スマホって、小さいけど１台でいろんなことできるはずでは？～

・外勤が多い職種なので、在宅勤務やサテライト勤務がやりにくい。
・農業者と接する仕事なので、他の道職員に内線電話する機会が少ない。
・スマホは来たけど、PCは古いまま。

▶

・テザリングと内線しか使えないスマホは、机の中で眠る
・タブレットPCのように外勤先でも役立てたい

## やってみた

① 資料閲覧（自分が参考にする用）
② 野帳（スプレッドシート）
③ スケジューラー(デスクネット)
④ カメラ
⑤ ColorNote(ToDoリスト)

※ ①②はOPSWATでPC→スマホへ

▶

## 良かった点～荷物が減る～

・記帳者がいなくても調査しやすい(１人でできる)
・ポケットがかさばらない
（記帳も撮影も日程調整もこれ１台）
・ペーパーレス
・知識が少なくても、資料で安心感
・予定業務や農業者からの宿題をColorNoteにメモ

外勤の持ち物(以前)
左から水田靴、葉色測定機器、資料の入った鞄、野帳、手帳とカメラ

左から水田靴、葉色測定機器、公用スマホ

調査結果を片手で記帳

## 注意点

スプレッドシートやOPSWATでエラーが出ることもあるので、コツが必要

# 大学との連携による大学生の地域活動事業への活用（何でも答える説明会!!）



| | |
|---|---|
| 概　　要 | ・石狩振興局と連携事業を進めている大学において、職場から持参した公用スマホ、PCを活用して、事業の説明会を実施<br>・共有フォルダやインターネット等を活用し、学生からの質問に応じた資料を投影して説明 |
| 効　　果 | 学生の疑問等にその場で答えることができ、学生の理解が深まるとともに、説明会後、すぐに作業や検討への取りかかれるなど、円滑な事業推進が可能となった。 |
| 道民の声 | ・疑問をすぐに解決できたので、事業の企画にすぐ取りかかれそう！<br>・多くの資料を視覚的に見ることができたので、理解が深まった。 |

## ➢ 現場で様々な資料が活用可能となり、学生のニーズ・疑問に、迅速かつ的確に対応

**～これまで～**

・説明資料は、事前に送付（印刷）し、紙での資料配付やプロジェクタ投影により説明
・事前に準備した資料に関係するものは、学生の疑問等に対応できるが、
資料に記載のない部分は、口頭で説明
・現場で確認や資料準備ができない場合は、持ち帰ってから確認し、改めて回答

**～これから～**

・学生のニーズ・疑問に対して、その場で、関係資料や写真、関連HPなどを投影
→疑問はすべて説明会で解決
様々な資料を見せることが可能
・現場の状況等に応じて、
準備していなかった資料や話題でも、臨機応変に対応可能

**理解促進・円滑な事業推進**

若い世代（学生）向けの
新型コロナ啓発も実施